

新会長 濱逸夫よりのメッセージ

- 1) 自己紹介
- 2) 基本方針
- 3) 役員体制
- 4) コロナ禍の中で
- 5) 評議員会について
- 6) 応用化学会設立百周年を迎えるにあたって

自己紹介



-
- 1977年 新制27回 平田彰研究室
 - 1977年 ライオン油脂（現ライオン）入社
研究開発本部配属
 - 1998年 早稲田大学 博士号取得
研究所長、事業部長等を歴任
 - 2012年 ライオン代表取締役社長 就任
 - 2014年 応化会第27回交流講演会 講演
「ドラム缶からCEOへ」
 - 2018年 応化会副会長 就任
 - 2019年 ライオン代表取締役会長 就任（現）
 - 2020年 応化会会長 就任

基本方針

前会長に改革頂いた応化会の活動基盤を定着させると共に、

①全世代にとって魅力ある応化会活動への進化

②次世代情報基盤の構築

③応化会100周年記念事業の準備

を進め、国内外に存在感のある早稲田応化会への変革を加速する。

2020 年度 早稲田応用化学会役員について

1. 概要：2018 年度の役員の改選を行う、今回の改選の趣旨は次の通り。

* 印：会長、副会長、学外役付理事及び理事の新任

* * 印：学内副会長、役付理事は 2021 年 3 月 31 日まで

2. 2019 年度役員名及び役職分担

会 長 濱 逸夫 (27 回) * 黒田 一幸 (24 回) * *

副会長 橋本 正明 (21 回) 奨学生推薦委員長 門間 聰之 (40 回) * *

副会長 安達 博治 (30 回)

副会長 下村 啓 (34 回)

応化会百周年記念行事担当 *

監 事 河野 恭一 (14 回)

監 事 中井 裕夫 (18 回)

学内理事 (13 名)

学外理事 (18 名)

理 事 田中 航次 (17 回) 関西支部長

理 事 関谷 紘一 (18 回) 交流副委員長

理 事 井上 健 (19 回) 編集理事

理 事 保谷 敬夫 (19 回) 交流副委員長

理 事 津田 信吾 (22 回) 会計理事

理 事 友野 博美 (22 回) 中部支部長 *

理 事 常見 宏一 (31 回) 交流委員

理 事 佐々木 一彰 (31 回) 広報委員長

理 事 町野 彰 (34 回) 基盤委員

理 事 新谷 幸司 (34 回) 広報副委員長

理 事 臼田 雅彦 (36 回) 基盤委員

理 事 井村 正寿 (36 回) 庶務理事

理 事 梅澤 宏明 (36 回) 基盤委員長 *

理 事 椎名 聡 (36 回) 交流委員長

理 事 佐藤 史郎 (37 回) 広報委員 *

理 事 大山 雅江 (42 回) 交流委員 *

理 事 真野 陽子 (47 回) 広報委員

理 事 齊藤ひとみ (58 回) 基盤委員

平沢 泉 (26 回)

木野 邦器 (29 回)

和田 宏明 (29 回) 庶務理事 * *

菅原 義之 (33 回)

桐村 光太郎 (33 回) 編集理事

松方 正彦 (34 回)

本間 敬之 (37 回)

小柳津 研一 (40 回) 会計理事 * *

下嶋 敦 (45 回)

関根 泰 (教員)

野田 優 (教員)

山口 潤一郎 (教員)

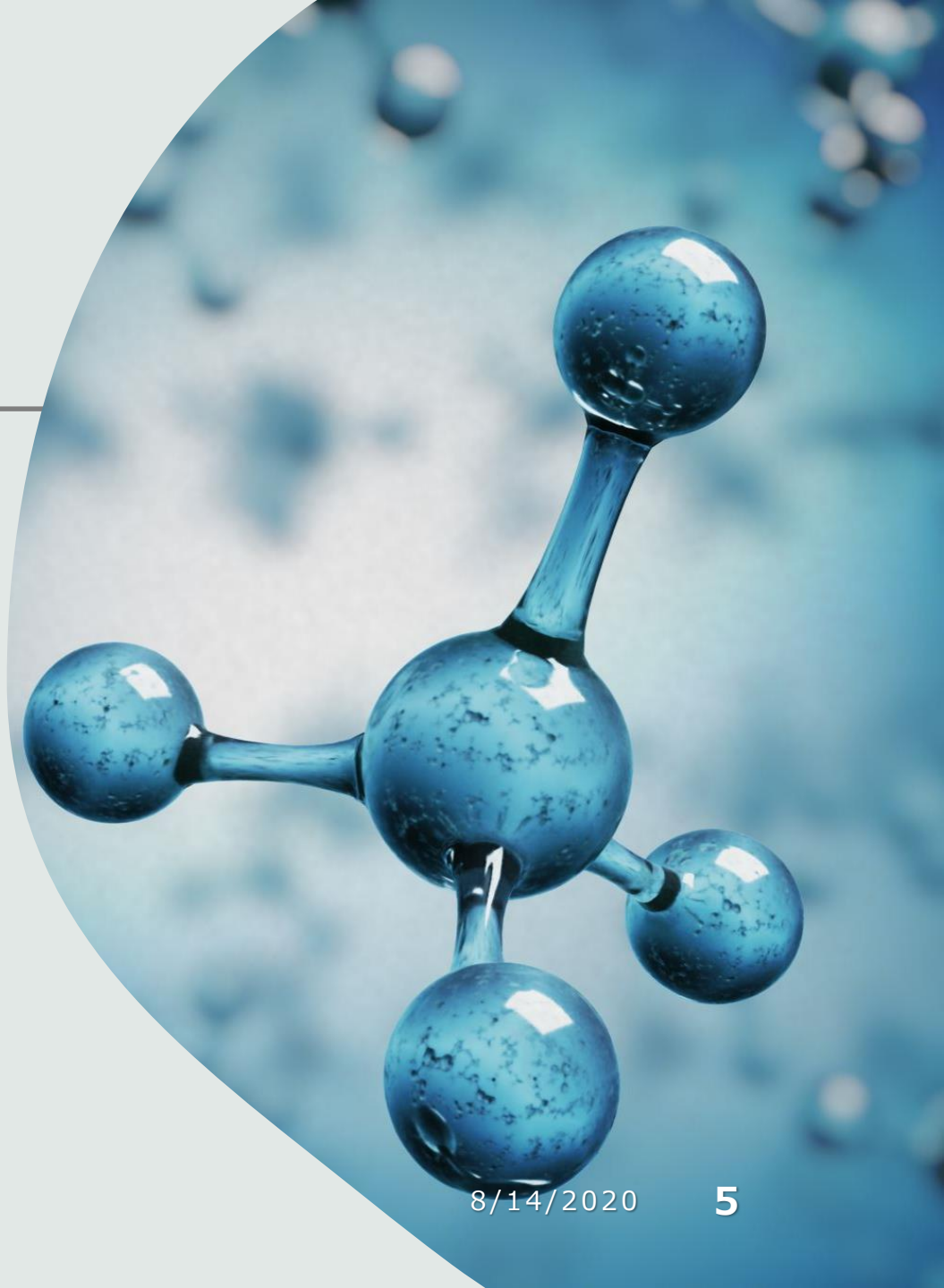
福永 明彦 (教員) *

() は卒業回を示す。

事務局長 寺嶋 正夫 (23 回)

コロナ禍の中で

- 1) 集会など活動が制限される中、リモートをはじめとする電子媒体を活用し、新しい応用化学会を構築する。
- 2) コロナ禍で苦しむ学生に寄り添い支援する



評議員会について

応化会変革の為の新たな仕組みとして、評議員会を改組し、世代縦割りの意見交換を活性化させ、執行部推進施策に対する全面的な支援体制を確立する。

新たな評議員については、各世代の連絡役に止まらず、応化会の活性化に寄与していただく為、今まで応化会活動に携わり活動に関心の深いベテラン、現在、評議員・各委員会委員として応化会活動に貢献頂いているメンバー、あるいは今後積極的に活動に貢献頂けるメンバー、学生時代に学生部会メンバーとして活躍されていた方、および奨学生の中から新たな各世代代表を選出し、会長が委嘱する。メンバーの任期は2年とし、重任を可とする。

なお、評議員会議長には西出前会長に就任していただく。

応用化学会設立百周年を 迎えるにあたって

- 1) 記念事業準備費の予算化
- 2) 準備委員会の設立 委員長：下村 啓
 - ・ 新たな記念事業の検討
 - ・ 記念式典開催の準備 等
- 3) 記念式典（予定）
2023年5月20日 リーガロイヤルホテル東京

『多様な繋がりを創造・応援する応化会活動』へ

